

一般質問の要旨 (令和7年6月定例会)

【一般質問】

	議員名	所属会派	質問形式	登壇予定日
1	南 正弘	自民党鶴政クラブ議員団	一問一答	6月12日 (木)
2	伊田 悦子	日本共産党議員団	一問一答	
3	仲井 玲子	超党・市民ファースト議員団	2 分 割	
4	上羽 和幸	公明党議員団	一問一答	
5	眞下 隆史	新政クラブ議員団	一問一答	
6	川口 孝文	自民党鶴政クラブ議員団	一問一答	
7	小杉 悦子	日本共産党議員団	一問一答	
8	廣瀬 昇	超党・市民ファースト議員団	一問一答	
9	杉島 久敏	公明党議員団	一問一答	6月13日 (金)
10	今西 克己	新政クラブ議員団	一問一答	
11	水嶋 一明	自民党鶴政クラブ議員団	一 括	
12	小西 洋一	日本共産党議員団	一問一答	
13	高橋 秀策	超党・市民ファースト議員団	一 括	
14	松田 弘幸	公明党議員団	一問一答	
15	田畑 篤子	新政クラブ議員団	一問一答	
16	上野 修身	自民党鶴政クラブ議員団	一問一答	6月16日 (月)
17	福本 明日香	超党・市民ファースト議員団	一問一答	
18	小谷 繁雄	公明党議員団	一問一答	
19	野瀬 貴則	新政クラブ議員団	一問一答	
20	谷川 眞司	自民党鶴政クラブ議員団	一問一答	
21	眞下 弘明	新政クラブ議員団	一問一答	
22	尾関 善之	自民党鶴政クラブ議員団	一問一答	
23	山本 治兵衛	新政クラブ議員団	一問一答	

【一般質問】

1 南 正弘 議員（自民党鶴政クラブ議員団） [一問一答]

1 舞鶴市の介護について

過疎化や少子高齢化により全国的な問題となっている介護の問題について、当市の現状、主に介護施設や介護スタッフの数はどれくらいで、その数で十分介護サービスを受けることができているのか、将来的にはどうなのかについて問う。



2 指定管理者に運営を任せている施設について

舞鶴市内にはいくつかの指定管理者に運営を任せている施設があるが、その中で東舞鶴公園の管理棟に設置されている時計については、もう何年も動いておらず過去にもどうにかならないか質問したが、その後の対応について問う。

また、青葉山ろく公園グリーンスポーツセンターのシャワールームが一つしかなく、男女共同使用となっているのは問題があると感じるので、もう1棟建設していただくことを考えていないかを問う。

2 伊田 悦子 議員（日本共産党議員団） [一問一答]

1 まち・人を元気にする文化政策の充実について

文化・芸術は、人々に生きる力を与え、心豊かな暮らしに欠かすことはできない。総合文化会館は、そのような中、市民に開かれた文化の拠点施設・交流施設である必要がある。また、全ての市民の文化活動への支援の充実が必要である。その見解を問う。



2 中央図書館をめぐる課題解決について

建設予定地の土壌汚染をめぐる市民への説明の不十分さ。分館の全貌がわからず市民は不安。特に東分館について、市民理解が得られていないと感じる。その見解を問う。また、実施設計の段階となっているが、スリム化できるところはスリム化する必要があるが、その見解を問う。

3 子どもを大切にした教育について

現在議論されている「舞鶴市学校規模適正ビジョン」で、小規模校の統廃合が議論されている。これについては、市民合意が必要。大阪・関西万博への児童・生徒の参加は安全性の面から考えても、今からでも参加を見直すべき。市の見解を問う。

4 加齢性難聴者への補聴器に対する助成について

難聴は認知症の最大危険因子と言われている。また、そのことにより、高齢者の行動範囲を狭くすることにもつながる。他自治体では、補聴器購入に対し、自治体独自で補助をしているところもある。本市もすべき。また、国に対し、国としての助成を求める必要がある。市の見解を問う。

3 仲井 玲子 議員（超党・市民ファースト議員団） [2分割]

1 住民主体の地域づくりの構築について

人口減少による自主財源の減少・人材不足など行政機能の弱体化の中、住民自らが地域課題に取り組む必要性が高まっているが、新たな地域コミュニティ再構築に向けた取組状況について問う。また、「地域版ふるさと納税」は、地域住民のつながりを育み、資金調達にもなる手法であるが、活用について市の見解を問う。



2 庁内横断型の舞鶴市のまちづくりのテーマについて

文化のまち・スポーツのまち・食育のまち等、特色あるテーマで多部署の施策を横断的に考えることは、明確なメッセージを市民に伝え、わかりやすい施策につながると考えるが、市の見解を問う。また、文化活動、スポーツ活動が教育・福祉・商業・高齢者支援・引きこもり支援などの取組にもつながると考えるが、市の見解を問う。

4 上羽 和幸 議員（公明党議員団） [一問一答]

1 こどもまんなか社会を踏まえた学校教育、教育支援について

不登校は、社会的な課題で、国の対策が追いついていない。子どもの貴重な学びや発育の期間を逃すことにもなりかねず、不登校の子どもを持つ保護者、家庭の苦悩は深い。そこで不登校の現状、学校と家庭、子ども家庭センターとの連携、また「学びの多様化学校」設置の考え、そして、子どもの声も受け入れていく姿勢について問う。



2 道路の維持管理について

道路の舗装が傷んでいるところが多く、また、区画線や横断歩道の白線が薄くなっているところが多い。安全の上で、不十分ではないか。もちろん限られた財源であり、長寿命化を図りつつ、優先順位の中で修繕が行われていると思うが、道路の維持管理に対して、財源が不足しているのか、維持管理の状況や課題について問う。

3 東西市街地の浸水対策について

令和6年度に業務委託した「雨水管理総合計画」の進捗と見通し、また、計画に伴う浸水対策事業、全行程について見通しを問う。また、静溪ポンプ場に対する検証会議から、原因と課題、再発防止策について厳しい報告がなされた。再発防止の達成と今後の見通し、職員の資質向上に加えて、技術職員の人材確保についても問う。

5 眞下 隆史 議員（新政クラブ議員団） [一問一答]

・ 舞鶴市の小中学校統合再編・再配置の事業について

舞鶴市では、本年1月から教育委員会を中心に「舞鶴市教育環境の在り方懇話会」が開催され、市内小中学校の児童生徒数が減少している課題に、学校統配合の可能性を含めた議論が開始された。教育環境のみならず地域コミュニティや地域防災を担う施設への影響や、本来の目的「質の高い教育環境」を目指す今後の計画を問う。



6 川口 孝文 議員（自民党鶴政クラブ議員団） [一問一答]

1 公用車の管理・運用等について

本市では、令和7年2月27日から3月12日にかけて、5日間、178Kmにわたり、車検切れの公用車を運行していたことが判明した。市長は、事例を招いたことを深く反省するとともに、今後は公用車の管理を徹底し、信頼回復に努めると述べられた。どのように管理・チェック体制が見直され、どのように実践されているのかを問う。



2 赤れんがパーク第2駐車場（市役所前）について

当該駐車場では、一方通行規制の逆走や、軽自動車専用区画への普通車などの駐車をたびたび目にする。駐車場での逆走原因の主なものは「表示が見えづらい・わかりにくい」と言われている。表示を見やすくする。自動二輪駐輪区画や車止めの整備を行うなど、改善の必要があると思料する。有料化を契機に再整備計画の有無を問う。

7 小杉 悦子 議員（日本共産党議員団） [一問一答]

1 コメの生産を支援することについて

「令和の米騒動」といわれる米の高騰は、政府が事実上の減反と生産者米価を低く抑え、コメの流通を実質市場任せにしてきたことが原因。コメ農家が2000年から1/3に減少して、コメの供給量が不足するまでに至っている。コメ生産を増産する政策に転換し、所得補償制度の復活など稲作農家の支援充実を問う。



2 介護事業の危機について

訪問介護事業所（ホームヘルパー派遣）の休止など介護の危機が本市でも表れている。昨年4月の介護報酬の改定で報酬が引き下がり、経営悪化と慢性の人手不足によるものが原因。高齢者が在宅生活を続けるためには、この事業で在宅生活を支えることが欠かせない。市の人材確保事業や訪問介護事業所への独自支援策を問う。

3 地域医療に市が公的責任を果たすことについて

診療報酬が昨年4月改定され、全国で病院は経営の危機に直面し、さらに国の病床削減政策で、「政府による病院の休廃合の加速、病院つぶし」につながりかねない状況。本市の医療環境にも影響があることから、医師確保や看護師確保に向けた市の支援策の強化で、病院経営を支える取組の強化を問う。

8 廣瀬 昇 議員（超党・市民ファースト議員団） [一問一答]

1 市民の命と健康を守る医療・介護体制の充実について

高齢化の進展に伴う市民の医療・介護ニーズに対し、在宅医療体制の強化、介護者支援、経済的困窮者や障害者への支援、権利擁護、認知症・精神疾患等への対応、市内医療機関連携による地域医療の充実、そして地域包括ケアシステムの強化について、市の取組と見解を問う。



2 外国人材の活躍について

ウズベキスタンとの交流を背景に、外国人留学生受入状況、市内定着支援、地域交流促進、異文化理解、今後の交流展望と外国人材が活躍しやすい環境整備における行政の役割を問う。

3 子育て支援、地域経済活性化及び食料安全保障に関する先進事例を踏まえた本市の施策展開について

子育て世帯への経済的支援として他市のクーポン・米配布事業を参考にその有効性、市の考えを問う。

また、食料安全保障の観点から、他市の食料危機対策を踏まえ、学校給食における地場産物活用の現状と拡大方針、市民の安定的な食料確保に向けた市の取組について問う。

9 杉島 久敏 議員（公明党議員団） [一問一答]

・ 舞鶴市中央図書館建設用地の土壌改良について

「土壌汚染を確認した時点で、その危険性を認識し、近隣住民に対し、周知をする機会を設けるべきであったのではないか」「説明会の開催にあたり、地下水汚染の対応策も含め、どのような想定をされ、どのような姿勢、どのようなお考えをもって説明会に臨まれたのか」「説明会の進め方において、納得のいく説明を優先的に実施すべきであったのではないか」

「安全面から梅雨入りを想定し、どのような対策をもって土壌搬出工事にあたられるのか」「土壌改良工事において、どのようにすれば安全に取り除けるのか、その方法について意見を交わす場にして行くためにも、市として、進められる事業計画には非常に期待するものであることから、今後のスケジュールについてはどのようにお考えか」を問う。



10 今西 克己 議員（新政クラブ議員団） [一問一答]

- 1 北陸新幹線小浜・京都ルートを見直し、京都府北部ルートを再考することについて

平成28年3月、北陸新幹線京都府北部ルートを誘致するため京都北部5市2町の商工会議所、自治体、議会などが誘致促進同盟会を設立し、誘致に取り組んできたが、平成29年に小浜・京都ルートに決定した。近年、概算事業費が当初の2倍、工期も28年に延びるなど前提条件が当時と大きく変更になった。現行計画を見直し京都府北部ルートを再考する考えはないか問う。



- 2 由良川取水における塩水遡上対策について

本市取水量の8割を担う二箇取水場は、近年の温暖化による海面上昇による影響を受け、塩水遡上が著しく取水できない状態が増加している。市では新たな取水場を現在の二箇取水場からさらに数キロ上流部に移転する計画を進めているが、河道の状況等を考慮した塩水遡上のない地点での整備計画と、由良川河川整備計画と連携した事業なのかを問う。

11 水嶋 一明 議員（自民党鶴政クラブ議員団） [一括]

- 市道宮下谷口線と上良大將軍線の歩道整備を目的とした交通安全事業の進捗状況等及びアイリスオーヤマ(株)の工場建設車両との調整等について
- 本市は、令和4年から通学児童・生徒、地域住民の皆さんが安全安心に利用できる歩道の整備と道路拡幅事業を進められている。

このたび、旧大和紡績舞鶴工場跡地にアイリスオーヤマ(株)の誘致が決まり、工事用車両通路として利用されることから、各関係者とどのように調整をされながら安全な通学路の整備に取り組まれるのか問う。



12 小西 洋一 議員（日本共産党議員団） [一問一答]

- 1 関西電力の「使用済み核燃料の陸上保管」計画について

若狭地域にある関西電力の使用済み核燃料プールがあと数年でいっぱいになる。現状ではどこにも行き場のない「使用済み核燃料」だが、関西電力は、水冷プールから取り出し、陸上保管する計画である。安全は？、市民への説明は？、どうするのか、市の見解を問う。



- 2 深刻な物価高騰から暮らしを守る緊急施策の実施について

物価高騰が止まらない。「食費を切り詰めている」「スーパーの買い物で財布の中が心配」の声がある。暮らしと営業も深刻である。市民の暮らしを守る緊急施策、高齢者世帯等への「エアコン助成制度」創設、消費税の5%減税を国に求めることについて、市の見解を問う。

- 3 「学校部活動の地域移行」の到達点と課題について

来年9月から中学校のクラブ活動が地域移行する。今年の3月に「舞鶴市部活動地域展開推進計画」が策定されたが、地域の指導者など受け皿の整備や、財政的支援も含めた地域や家庭への支援など、市の公的責任と公的支援について市の見解を問う。

- 4 舞鶴海上自衛隊の安全保障上の新たな段階について

これまでから議会のたびに舞鶴の海上自衛隊基地の拡大・増強について質問してきた。さらに、舞鶴基地へ「スーパーイージス艦（通称）」が配備されることも想定される。そのために北吸岸壁の浚渫と棧橋の延長計画も予定されている。市民への説明責任について問う。

13 高橋 秀策 議員（超党・市民ファースト議員団） [一括]

1 海上保安学校について

海上保安学校をどのように捉えられているのか、また、学生とのより一層のコミュニティを図る取組についてどのような見解をお持ちなのかを問う。

保安学校へアクセスする歩道の新設、周辺整備について、市の見解を問う。



2 民間保育園保育士支援制度について

市の保育士支援制度は、3号認定の子どもの利用定員を設定している施設に限るとされており、3号認定の子どもさんを預かっていない園には市の支援制度は受けられないものもある。

待機児童の解消に向けた取組の一環である保育士支援制度の見直しについて行うべきと考えるが、市の見解を問う。

3 教育環境について

学校グラウンドの維持管理について、草刈機を手動式から自走式や乗用型の導入についての考えを問う。

14 松田 弘幸 議員（公明党議員団） [一問一答]

1 本市の駐車場について

3月定例会の一般質問の答弁では、イベントの規模に応じて、共用駐車場に加え、周辺施設に最大360台分の臨時駐車場を確保し、各駐車場に警備員を配置するとのお答えであったが、総合文化会館大ホールで開催された演奏会では、各駐車場に警備員は配置されておらず、市民から虚偽答弁ではないかとの指摘があったので問う。



2 学校給食について

子どもたちの健やかな成長はもとより、感謝の気持ちを育成するためにも、より良い給食の提供環境、子どもたちに温かい給食を提供できる環境が大切だと考える。センター方式による給食は、子どもたちから好評と聞いているが、本市で導入する考えはないか問う。

3 トレーラートイレについて

トレーラートイレの主なメリットは、移動可能で災害時やイベントなどで手軽に設置できることや、給水タンクと汚水タンクを備えているため、遠隔地でもすぐに使用開始できる。自治体が災害時に活用できるトレーラートイレは、全国の自治体で導入が進んでいる。本市の導入の考えを問う。

15 田畑 篤子 議員（新政クラブ議員団） [一問一答]

1 地域医療の持続可能な仕組みづくりについて

公的4病院の再編・統合と経営・雇用について提案をする。舞鶴市は、東西舞鶴が、その歴史や発展の仕方も違うことから二分化しており、市民の意識は変えられない。そこでの提案をする。また、市民への地域医療の意識改革も重要課題であり、昔は、なんでも診てもらえた病院の状況が、今や、そうはいかない市民への意識改革を問う。



2 吉原地区伝統的建造物群保存事業への取組について

「伝統的建造物群保存事業」の地域住民への理解を得た事業推進であるか。今住んでいる地域住民とその家族が願う地域の将来像の在り方を問う。人口減少による過疎化傾向を、伝統的建造物を残すことで、地域住民に希望の持てる未来への事業ということが伝わっているか。市の地域を思う気持ちと地域が一体化しているのかを問う。

16 上野 修身 議員（自民党鶴政クラブ議員団） [一問一答]

・ 森林・里山整備について

森林環境譲与税に関わって、多祢寺の市有林モデル皆伐再造林事業の目的と事業内容のほか、森林環境譲与税の使途の方向性を問う。併せて、効果的に活用するには、地域活動支援を通じた森林整備が重要と考えるが、市の考えを問う。

また、山から地域を元気にする事業について、今年度の申請状況、市内の地域・自治会などへの本事業の周知と活動促進の方法のほか、来年度以降も継続すべき事業と考えるが、市としての考えを問う。



17 福本 明日香 議員（超党・市民ファースト議員団） [一問一答]

1 第一次産業が与える影響と支援について

全国的な米不足問題での支援策や現状、学校給食における、安心安全な米の確保と、オーガニックビレッジ宣言について、「丹後とり貝」の貝毒の発生に伴う現状と、今期の出荷が出来ない場合の支援策などや、「まいづる親善大使」と連携した子どもたちへの食育、担い手育成を目指した教育について、農業における野焼きの現状と、事故防止など問う。



2 READING WORLD ユネスコ世界記憶遺産舞鶴への生還 『約束の鎮魂歌(レクイエム)』について

昨年に引き続き本年も開催されるが、市の思いと、開催に至るまでの取組、当日の公共交通機関との連携、メディアPRと、引揚記念館でのイベント開催や、語り部との連携や、ツアーの実施等、戦後80年、ユネスコ世界記憶遺産登録10周年ともからめた、コラボ企画や、学校教育に取り入れるなど、郷土愛の醸成につなげる取組などについて問う。

3 子どもたちの学校と教育について

子どもたちの安全な教育環境の確保に向けて、学校施設の安全点検やマニュアルについて、熱中症対策と、急病の子どもへの対応、最近増えてきている不審者への対策で子どもの安全を守る本市の取組と、子どもの主体性を伸ばす、自由進度学習の考え方について、好事例を取り入れた、教育について問う。

4 放課後等デイサービス事業について

本市の放課後等デイサービス事業の現状と待機児童の概念と利用状況についてと、ニーズ把握と通学支援の対象者拡大、人手不足について本市事業所の現状と、市の認識と支援策について、放課後等デイサービス事業の利用申請時における、相談支援の現状と、セルフプランの現状と考え方について、セルフプランではない、相談支援の必要性について問う。

18 小谷 繁雄 議員（公明党議員団） [一問一答]

1 誰もが安心して暮らせる住まいの確保支援について

昨年の法改正を踏まえ、本市の住まい相談支援事業の進展、住宅確保困難者への支援施策の成果、多機関協働の活用状況及び見守り支援の具体策と課題を問う。また、居住支援協議会設立の進展状況や公営住宅等の長寿命化計画に基づく市民ニーズに応じた住環境改善の方針について問う。



2 子どもたちの熱中症対策について

猛暑による児童生徒の熱中症対策として、下校時の安全確保や適切な水分補給方法、熱中症警戒アラート活用、屋外活動の制限、小中学校への冷水器設置などに関する本市の取組状況と見解を問う。また、地域連携や課題解決策について問う。

19 野瀬 貴則 議員（新政クラブ議員団） [一問一答]

1 墓地行政への取組について

多死社会の現代において、故人の遺骨は従来のお墓への埋葬だけではなく、子や孫に迷惑をかけないために樹木葬や合葬墓への埋葬など多様化が進んでいる。他方で先祖のお墓があっても不便な場所にあることから墓じまいや近い場所への改葬の要望も多い。管理不全の無縁墳墓を発生させないためにも、墓地における行政の役割と責任について伺う。



2 地域の防犯カメラ設置について

防犯意識の高まりや犯罪抑止、そして機器の低価格化により地域に防犯カメラの設置需要が高まっている。令和5年に始まった補助金制度により各地域に設置が進んでいるが、設置方法や管理など専門的な部分は単年度交代の自治会で決定が困難である。行政の伴走支援が必要と考えることから、制度の現状と課題の解消策について伺う。

20 谷川 眞司 議員（自民党鶴政クラブ議員団） [一問一答]

1 保育の無償化と給食費無償化について

幼児教育・保育の無償化が進む中で、給食費や延長保育料などの実費負担が家庭の負担となっている。特に住民税非課税世帯や多子世帯への影響は大きいと考える。保育所やこども園の給食費を無償化・軽減する考えについて市の見解を問う。また、0～2歳児の保育支援の拡充方針について市の見解を問う。



2 リチウムイオン電池の回収について

本市ではリチウムイオン電池による火災などの事故は過去にあったのか、現行の回収・分別体制は十分か、住民、特に高齢者や外国人への周知は十分にできているのか、今後、回収ボックス設置拠点の拡大や民間との連携強化など、具体的対策を講じる考えはあるのか、市の見解を問う。

3 緊急防災・減災事業債の活用について

深夜や早朝の災害時、市民が迅速に避難所へ入れる体制は整っているか、鍵の管理・解錠体制や非常時の対応は万全か、地域住民に鍵を託す「地域型解錠体制」の導入の考えはあるか、能登半島地震の教訓を防災計画にどう反映し、緊防債を活用した対策はどの程度進んでいるのか、市の見解を問う。

21 眞下 弘明 議員（新政クラブ議員団） [一問一答]

・ 赤れんがパーク周辺駐車場について

適切な施設管理運営を目指すため、駐車場有料化が行われるが、市民の方からは、今なお、不安の声が多い。来月7月1日から開始される駐車場有料化の周知、広報について問う。

赤れんがパーク駐車場の年間収支が3000万円と提示されていたが、年間3000万円という数字の想定の根拠について問う。

平成29年度と昨年12月定例会でも収支決算書への指摘を受けた監査報告だったのだが、駐車場業務の管理について問う。また、赤れんがパーク駐車場の駐車場収入に関し、市と指定管理者の管理方法と、今後の事業収入を財源としての今後の運用について問う。



22 尾関 善之 議員（自民党鶴政クラブ議員団） [一問一答]

1 静溪ポンプ場(土木工事)検証会議報告書について

再発防止策に向けた取組の中で、組織としての対応強化として、社会的、経済的に大きな影響を及ぼす工事の設計、業務委託成果について、工事担当部署以外の視点でチェックが行われる体制の構築等の指摘について問う。

また、担当職員の資質向上について、公共工事の発注者として検証会議の指摘を踏まえ、研修や職員間の情報共有など継続した取組について問う。



2 田辺城趾の老朽化した石垣について

田辺城趾の石垣は、歴史的にも貴重な価値があり保存していく必要について市の考えを問う。

23 山本 治兵衛 議員（新政クラブ議員団） [一問一答]

1 新たな地域共同による地域の活性化について

住民の最も身近に必要な住民自治組織である自治会は、地域の課題を解決するために活動されているが、近年では自治会に加入しない世帯が増加していることや、自治会役員の成り手不足、活動の低下など課題は多い。これらの課題を解決し自治会活動を活性化させることは必須であると考える。具体的な提案もしながら市の考えを問う。



2 舞鶴市の水道事業について

舞鶴市民の安全・安心を担保し生活に直結する大切な事業の一つに水道事業がある。安全で安心な水を市民へ安定供給することは、市と地元事業者で協働して行っており、そのような背景でもって設立された管工事協同組合は、使命を全うするために、日夜、努力をいただいている。今後、水道事業の体制は大きく変遷するが、改めて組合の役割と市の責務について問う。

3 各スポーツ協会を取り巻く状況について

部活動の地域展開は、行政、教育機関、市民団体にわたり大きな影響をもたらしている。それぞれの立場で議論や体制づくりが進められているが、地域展開を受諾する団体となる各スポーツ協会や連盟は持続的に活動が行えるよう、組織の強化が図れるよう行政の支援は必須である。改めて市の考えを問う。

4 令和の米騒動について

もはや国民的問題となった令和の米騒動。舞鶴市内でも大きな影響を与えている。そもそもの問題を市としてどのように把握しているのか。また、舞鶴でどのような対策を行えば、市民が安心して主食である米を享受することができるのか。市の考えを問う。